



平成19年4月号

発行日 平成19年5月 9日発行
発行者 広島経済同友会尾道支部
住 所 広島県尾道市土堂2-10-3 商工会議所ビ
Tel ル2F
E-mail 0848-23-2222 Fax 0848-23-3333

— 再任挨拶 —

広島経済同友会尾道支部
支部長 今岡 寛信

この度、広島経済同友会尾道支部支部長に再任され、責任の重大さを改めて痛感致しております。

昨年は、備後都市懇話会、尾道支部創立50周年記念式典、講演会（特別対談、細川護熙氏と山本一隆氏）、懇親会が会員皆様のご協力により大成功の内に無事、終わる事ができました。ありがとうございました。

同友会に始まり同友会で終わった一年間でした。又今年、今後の尾道を大きく左右するであろう新尾道市として初めての統一地方選挙があり、新市長、新市議に今後の尾道の未来を託す事になります。広島経済同友会尾道支部も新尾道市長の方針と尾道市総合計画基本構想を軸とし、新尾道市の地域社会、地域経済の更なる発展を目指して取り組んでいくつもりです。

今年度も会員皆様方のご支援、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



平成19年度事業計画

1. 基本方針

我が国経済は、大手企業の好調に支えられ、景気拡大が続いています。

しかしながら一方では、大手企業と中小企業との格差の拡大、業種間や地域間格差の二極化等、景気回復の声をよそに地域の中小、零細企業に於いてはまだまだ厳しい状況が続いています。

世の中が二極化している現在、従来のものを大胆に変えるか、地域独自の魅力的な個性の形成か、それとも新しい産業、技術、サービスを創造し行動していかなければ道は開けてこない様に思われます。

地方分権改革が進む中、歴史と自然環境に恵まれた15万3千人の新生尾道市が誕生致しました。しまなみ海道の高速道全線開通、中国横断自動車道尾道松江線の整備も順調に進んでおり、瀬戸内の十字路として今後ますます山陰、山陽、四国地方の結節点の拠点として尾道市の役割と重要性が増してきています。

新生尾道市に於いては、概ね10年間を展望した尾道市総合計画基本構想（活力あふれ感性息づく芸術文化のまち尾道）が決定し、今後の尾道市の進む道筋が示されました。広島経済同友会尾道支部もこの基本構想と軸とし、広域的な芸術、文化、地域経済発展を模索する為にも近隣の経済同友会との連携を今迄以上に強めていくことが必要と思われます。

又、広域化した尾道市の各地域の特色を活かす為にも幅広く会員の増強を行い、さらに教育問題、道州制に対しても積極的に取り組んでいくつもりです。

こうした中、創立50周年をひとつの節目として、地域社会、地域経済が発展する原動力となるよう努力していきたいと考えています。



2. 重点目標

(1) 尾道新時代への対応

- ① 新生尾道市の活性化への協力・提言。
- ② 世界遺産登録を目指す市行政への協力・提言。
- ③ 中国横断自動車道尾道松江線の開通促進と、しまなみ海道高速道全線開通の経済効果の研究・提言。

(2) 教育問題への対応

- ① 教育文化部会による教育の研究。
- ② 広島県教育会議尾道・向島支部の活動の支援。

(3) 新生尾道市に於ける会員の増強。

(4) 道州制の研究。